

# 令和6年度事業報告書

## ○事業の状況

### 1 概要

- ・平成15年(2003)の開館から21周年となり、七宝及び近代工芸に対する関心の高まりを実感するとともに、それを将来へと継承する担い手としての当財団の責務をあらためて認識した。
- ・令和5年(2023)のリニューアル開館を機に着手した、新催事(主屋2階大広間特別公開)や展示公開活動(春季・秋季特別展)に来館者の関心が向けられ、より充実した滞在時間を味わっていただいている。
- ・令和4年度(2022)に行った登録有形文化財(建造物)旧並河靖之邸主屋保存修理事業および館内施設等の工事にて、展示公開範囲が拡張したことによる、史資料展示の充実などが理由の一因に挙げられる。
- ・「七宝体験教室」、「秋の茶会」を開催した。
- ・館藏品(寄託品を含む)の他館への貸し出しや、七宝文化普及に関わる依頼への協力を行った。
- ・ホームページにて情報発信を行った。
- ・ミュージアムグッズの販売促進に努めた。
- ・財団および記念館職員の養成・研修を行った。
- ・その他の事業を継続し、各種文化財等に指定・登録された七宝資料・建造物や庭園の保存・管理に努めるとともに適宜改善措置を講じた。

### 2 実施事業

#### (1) 公開・活用

##### ① 展覧会の開催

種別	会期	タイトル
春季特別展	令和6年4月2日(火) ~7月21日(日)	春季特別展 並河七宝—百年の時を越えて—
	日数 80 日間	展示点数：64 点ほか下画、道具、資料など 趣旨：並河七宝と靖之の百年の歩みを紹介。
秋季特別展	令和6年9月3日(火) ~12月15日(日)	秋季特別展 並河七宝の光彩—色と容 <sup>かたち</sup> の玉手箱—
	日数 75 日間	展示点数：七宝 55 点ほか下画、道具、資料など 趣旨：史資料を紐解き並河七宝の魅力を紹介。
開催日数合計	155 日間 / 4423 人 (29 人 / 1 日)	

## ② 建造物、庭園の公開

- ・国の登録有形文化財並びに京都市の景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物指定の建造物を活用し、春季・秋季特別展を開催した。京都市指定の名勝庭園についても展覧会時に公開した。
- ・令和4年度（2022）登録有形文化財（建造物）旧並河靖之邸主屋保存修理事業および館内施設等工事により拡張した公開範囲と内容は以下の通り。

### 1) 主屋

- 2階大広間（北座敷と南座敷）および回廊  
→特別公開に活用。
- 1階南座敷（西側を襖から耐震壁に変更）  
→旧並河邸にて使用の棚を配置し、史資料の展示を常設。  
DVD再生装置（製作工程画像）、図録や記念館グッズの紹介コーナーを設けた。  
→冷暖房機の設置  
美観に配慮し、欄間奥の隣接室に配置して欄間から送風。

### 2) 第2展示室

- 来館者用トイレの改修  
→レイアウトの変更により共有空間に余裕が生まれた。  
男性トイレに洋式便器を配置。
- 来館者用トイレの改修により、展示空間が若干増床  
→展示壁の面積が増え、余裕のある展示空間となった。

### 3) 庭園

- 東回廊の公開  
→庭園東南部の屋根付きの回廊部分を生かし、壁面に庭園や建物に関する展示資料を配置し、屋外の展示内容を充実した。
- 樹木（経年木についての観察）  
→近年、京都市内において老いた樹木の倒木が発生しているため、当館の樹木についても手入れを依頼している造園会社（御庭植治）に対策を相談した。

## ③ 主屋2階の大広間特別公開

- ・展覧会開催期間中に開催日、定員を設け、学芸員および職員が誘導をして解説付きで案内した。庭園および東山の眺望をご覧いただき、書画や調度類を設えて、並河靖之が七宝業を営み住まい暮らした時代の雰囲気に触れ、記念館界隈の今昔や京都の暮らしや文化に興味をもっていただくよう努めた。

- 開催日：春季・秋季展中の当館が設定した特別公開日  
金曜日午後 1：30～／土曜日午前 11：00～（各回 40 分程度）  
春季展開催中 4/12（金）、4/20（土）、5/18（土）、24（金）、  
6/1（土）、28（金）、7/5（金）、7/20（土）  
秋季展開催中 9/7（土）、9/27（金）、10/5（土）、10/25（金）、  
11/16（土）、12/6（金）、12/14（土）  
料 金：600 円（別途入館料 1000 円が必要）  
定 員：事前予約制 各回定員 15 名  
合 計：全 15 回（金曜日 7 回、土曜日 8 回）／参加人数：217 人

#### ④ 七宝体験教室

- ・七宝文化の普及を目的に、七宝体験教室を開催した。
  - 開催日：令和 6 年 5 月 12 日、26 日、6 月 9 日、16 日（各日曜日）  
講 師：鈴木周子氏  
料 金：2000 円（別途入館料 1000 円が必要）  
定 員：事前予約制 各回定員 8 名  
合 計：全 4 回／参加人数：31 人

#### ⑤ 茶会の開催

- ・賛助会員や当財団の活動に関わる皆様と一般の方々を対象に、交流と親睦を目的とした茶会を開催した。  
開催日：令和 6 年 11 月 21 日（木）  
担 当：武者小路千家官休庵お社中  
料 金：3000 円  
合 計：全 3 席／参加人数：49 人

### (2) 収集・保存

#### ① 収集

- ・並河七宝及び関係諸資料調査を継続し、価値の高い資料の収集に努めた。
- ・並河靖之や並河家に関する資料の収集に努め、一部は特別公開に合わせて室内調度品とし公開した。

#### ② 保存

- ・令和 4 年度の主屋保存修理事業により、堅牢かつ拡張された収蔵施設にて、適正・良好に保存し、必要に応じて修理を行っている。

### (3) 館蔵品等貸出しおよび調査研究・交流など

#### ① 館蔵品等貸出

貸出先	会 期	タイトル
大阪中之島美術館 所在地：大阪市北区中之島 4-3-1	令和 6 年 3 月 9 日（土） ～5 月 6 日（月・祝）	「没後 50 年 福田平八郎」 （貸出点数 1 点）
京都国立近代美術館 所在地：京都市左京区岡崎円勝寺町 26-1	令和 6 年 4 月 2 日（火） ～5 月 26 日（日）	「没後 100 年 富岡鉄斎」 （貸出点数 3 点） * 寄託品を含む
大分県立美術館 所在地：大分県大分市寿町 2 番 1 号	令和 6 年 5 月 18 日（土） ～7 月 15 日（月・祝）	「没後 50 年 福田平八郎」 （貸出点数 1 点）
あま市七宝焼アートヴィレッジ 所在地：愛知県あま市七宝町遠島十三割 2000	令和 6 年 9 月 21 日（土） ～11 月 4 日（月・祝）	「明治七宝の美 一二人のナミカワを中心に」 （貸出点数 16 点）

#### ② 調査研究

- ・館蔵品や寄贈・寄託品についての悉皆調査及び目録の作成を継続。
- ・清水三年坂美術館
- ・あま市七宝焼アートヴィレッジ
- ・皇居三の丸尚蔵館
- ・オックスフォード大学アシュモレアン博物館 などと共同研究

#### ③ 交流

- ・清水三年坂美術館 朝山衣恵 氏
- ・あま市七宝アートヴィレッジ 小林弘昌 氏
- ・皇居三の丸尚蔵館 岡本隆志 氏
- ・京都市立芸術大学 光平有希 氏
- ・愛媛大学 松木裕美 氏
- ・オックスフォード大学アシュモレアン博物館 クレア・ポラード 氏 ほか

#### ④ その他

- ・登録博物館再申請手続き説明  
令和 6 年 9 月 13 日（金） 学芸員の参加（武藤夕佳里、平田景子）
- ・令和 6 年度第 2 回国立西洋美術館美術作品購入等選考委員会選考委員（第 2 回寄贈委員会）依頼への協力  
令和 6 年 12 月 2 日（月）開催 学芸員の派遣（武藤夕佳里）

#### (4) 教育普及活動

##### ① 展示解説

毎日文化センター（10人）、京都外国語大学博物館学（21人：車いすの学生含む）、龍谷大学文化遺産学（22人）、中日文化センター（16人）、新建新聞社（13人）、装道礼法きもの学院大阪校（11人）、株式会社三越伊勢丹ニッコウトラベル（8人）、東京農業大学カレッジ講座（25人）、株式会社三越伊勢丹ニッコウトラベル（18人）、京都伝統工芸大学校漆コース（17人）ほか

##### ② 講師派遣の協力

・七宝焼アートヴィレッジ開館20周年「七宝シンポジウム」への協力

▶ 令和6年11月3日(日)開催 学芸員の派遣（武藤夕佳里）

第一部 シンポジウム 基調講演（2）「並河靖之と明治の七宝業」

第二部 パネルディスカッション

\*本シンポジウムでは、当財団理事の小川幹生氏も登壇した。

第一部 シンポジウム 基調講演（1）「梶常吉と七宝町」と第二部

##### ③ 京都市都市計画局

・都市景観部景観政策課製作の当記念館 PR 動画（まちなみチャンネル）に協力

#### (5) その他の事業

##### ① 周知・広報など

・チラシ、ポスターを製作し、他の美術館、博物館、教育施設、観光施設等を通じて広く配布した。

・粟田祭（粟田神社大祭）：夜渡り神事（れいけん祭）巡行の山車に広告幕

##### ② 刊行物掲載

・『健美通信』10月号 ニッセンビューター

・『歩く地図 秋の京都散歩2024』 誠美堂出版

・『歩く地図 京都散歩2025』 誠美堂出版

・『芸術新潮 12月号』 新潮社

・『和楽』10・11月号 小学館

・『和楽』4・5月号 小学館

・『京都・観光文化検定 公式ガイドブック』 淡交社

・宮澤正明『錦鯉』小学館

##### ③ インターネット、ホームページ

・ホームページの内容更新を定期的に行った。来館者がより情報を取りやすく、

利用しやすい内容となるよう刷新する。

- ・イベントの告知、募集を行う受付方法を整え、募集状況を逐次更新した。
- ・感染症拡大防止のため、見学に際しての協力をお願いを継続した。
- ・図録やミュージアムグッズの紹介を行っている。
- ・京都市観光協会ホームページ《京なびネット》ほかに参加。

#### ④ ミュージアムグッズの販売・促進

- ・「お得な3点セット（600円）を販売。
  - クリアファイル、一筆箋、葉書などをセットし、単独購入時より50円割引となる商品を企画した。
- ・「特別限定セット券」（1400円）を設定。
  - 来館者の観覧をより充実していただく一助となるよう、入館料と記念館リーフレット（オリジナル）セット料金を秋季特別展から設定した。

入館料（通常）	大人（一般）1000円
記念館リーフレット（オリジナル）定価	500円
特別限定セット券 料金	1400円（個別利用より100円引き）

\*ほかの割引との併用はしない。

\*秋季特別展（75日）の会期中、275点を販売した。これまで、記念館リーフレット（オリジナル）は、充実した内容にも関わらず、販売数が伸び悩んでいた。スタッフのスタッフの発案で、入館後にお求めいただくのではなく、入館時に割引料金を説明してお勧めすることにした。

#### ⑤ 財団および記念館職員の養成・研修

- ・京都市内博物館施設連絡協議会 講演会、施設見学会
  - 開催日：令和6年6月18日（火）
  - 会場：嵯峨嵐山文華館
  - 参加者：学芸員 平田景子
- ・並河靖之七宝記念館職員研修会 施設見学会
  - 開催日：令和6年8月5日（月）
  - 会場：ニトリ對龍山荘／橋本関雪記念館
  - 参加者：館長 並河英津子ほか7名
- ・秋季特別展 展示内容解説
  - 開催日：令和6年9月3日（火）～10日（火）
  - 会場：館内

参加者：スタッフ 牧野美子ほか7名

- ・七宝焼アートヴィレッジ開館20周年「七宝シンポジウム」、施設見学会

➤ 開催日：令和6年11月3日（日）

会場：あま市七宝焼アートヴィレッジ交流ホール

参加者：理事 並河健ほか2名

- ・町内散策—防災および危機管理の共有

➤ 開催日：令和7年3月31日（月）

会場：堀池町界限

災害時の町内の避難場所と経路の確認、防火用水の確認、

近隣の商店、宿泊施設など、周辺環境の把握

参加者：スタッフ 牧野美子ほか7名

## (6) 加盟団体

- ・京都市内博物館施設連絡協議会
- ・京都市観光協会
- ・京都府文化財所有者等連絡協議会
- ・京都画廊連合会
- ・京都府国登録文化財所有者の会
- ・京都観光推進協議会（京都・東山花灯路実行委員会、京都・嵐山花灯路実行委員会）

## (7) 会員組織

並河靖之七宝記念館賛助会会員 24名

## ○ 会議に関する事項

- ・ 理事会

開催年月日等	議決事項	審議結果
令和6年6月6日 七宝記念館	第1号議案 令和5年度事業報告（案） 第2号議案 令和5年度収支決算（案） 第3号議案 定時評議員会の招集	承認可決 承認可決 承認可決
令和7年3月27日 京都ガーデンパレス	第1号議案 令和7年度事業計画（案） 第2号議案 令和7年度収支予算（案） 第3号議案 定款の一部変更 第4号議案 資金調達及び設備投資の見込み 第5号議案 利益相反取引の承認	承認可決 承認可決 承認可決 承認可決 承認可決

・評議員会

開催年月日等	議決事項	審議結果
令和6年2月7日 七宝記念館	第1号議案 令和5年度事業報告（案） 第2号議案 令和5年度収支決算（案） 第3号議案 評議員及び理事の選任	承認可決 承認可決 承認可決
令和7年3月27日 京都ガーデンパレス	第1号議案 令和7年度事業計画（案） 第2号議案 令和7年度収支予算（案） 第3号議案 定款の一部変更 <b>※定足数に達せず議決できず</b>	

※ 令和7年3月27日 理事長から定款の一部変更について提案  
同年4月 4日 書面議決により可決承認